

第3回「あきる野・檜原地域公共交通活性化協議会」
第3回「奥多摩地域公共交通活性化協議会」
議事概要

1. 日時

令和5（2023）年10月13日（金曜日） 13時30分～14時30分

2. 議事

- (1) 法定計画策定に向けた手順について
- (2) 法定計画の構成案について
- (3) 第2回協議会の主な意見と計画素案（骨子）への反映について
- (4) あきる野・檜原地域公共交通計画素案（骨子）について
- (5) 奥多摩地域公共交通計画素案（骨子）について

まず、事務局より議事に係る資料について説明を行い、その後意見交換を行いました。
委員からの意見は以下のとおり。

- 法定計画策定に向けた手順、法定計画の構成案について
※ 質問、意見等なし
- 第2回協議会の主な意見と計画素案（骨子）への反映、あきる野・檜原地域公共交通計画素案（骨子）、奥多摩地域公共交通計画素案（骨子）について
 - 貨客混載事業について、奥多摩地域では「検討」だが、あきる野・檜原地域では「継続」となっている。これは、奥多摩地域で実証運行を実施した結果、貨物運送事業者から継続実施については検討したいとの申し出があったためである。本格実施に至らなかった理由は、貨物運送事業者が1社のみであり、物量が少なかったためとのことである。今後、複数貨物事業者の相乗りが実現できれば、実施の可能性は出てくるかもしれない。多くの貨物事業者が集まることで出てくる問題もあると思われるが、実現に向けて引き続き検討していくことができると良い。
 - 多言語対応については、現状としてバス停標柱及び車内での停留所ローマ字表記を行っており、車内において液晶のサイネージでローマ字表記を進めている。ただ、山間部では対応しきれていないバス停もある。一方、多言語表記も行き過ぎると、せっかく外国に来ているのに全部多言語化されていてびっくりしたという海外旅行者の話も聞いたこともある。今はスマートフォン等でも情報提供されているので、そういう点も踏まえて検討していけると良い。
 - オープンデータ化による情報提供は進めていけると非常に良い。現在、西東京バスでは、全系統・全路線について準備を進めている。
 - 第2回協議会の意見で挙げられたあきる野・檜原地域における渋滞について、檜原村ではバイパスが無く1本道であること、また急峻な地形のため駐車スペースも少ないことから、渋滞解消につながる施策の実施が困難な状況である。観光事業者やイベント主催者と連携して、ホームページやSNSで観光客向けに駐車場の事情も含めて公共交通の利用をPRしていきたい。観光客は交通事情をあまり知らずに行くことも多いと思われるため、実際にどのく

らい渋滞しているのか、また、オープンデータ化によるバスの遅延等を含めて情報発信していけると良い。

■ 次回（第4回）協議会開催について

- 令和5年12月18日（月） 13:30からの開催を予定している。